



発行所 島根日日新聞社 〒693-0001 出雲市今市町743-22

山陰あれこれ

136

番外編

令和3年7月8日（掲載予定なし）

## 民話仲間の絆

酒井 董美 ただよし

一昨日からテレビの全国ニュースは、「松江地方を中心に七日早朝から梅雨末期の雨が線状降雨帯となっている」と注意を喚起していた。

七日朝になると各地の親しくしている方々や親族から、電話やメールなどで豪雨見舞いが舞い込んできて、人の世の温かさが身にしみて感じられてありがたかった。

ところで、筆者は現在、『島根日日新聞』と『島根半島四十二浦巡り再発見研究会ホームページ』に「島根の民話」。『日本海新聞』に「鳥取の民話」を毎週一回連載中である。そしてこれらは全国の親しい民話仲間約八十名にメールで配信し、交流している。その中の一人、埼玉県鴻巣市こづのすの熊谷康夫氏（民話グループ「どんとはれ」とは特に親しい。筆者の民話添付メールに対して毎回、必ず何らかの丁寧なコメントを頂いている。七日の「鳥取の民話」「灰坊」の際の返信はこうであった。

本日の『日本海新聞』に掲載の「鳥取の民話・75「灰坊」をお送りくださり、ありがとうございます。この話は初めてお目にかかりますが、後半は「蛇婿入り」によく似ています。こちらは長者の家に雇われた「庭掃き女（蛙の皮を被っている）」に若さんが一目ぼれする話で、最後は二人が夫婦になるところは同じです。

ところで、気象庁が島根県と鳥取県で帯状に発達した雨雲が連なる「線状降水帯」が発生し、半日で7月1か月分の雨量を上回るところが相次いでいると報じています。松江市は大丈夫ですか？民話にも出てくる「八雲地区」がひどいようで心配しております。大きな被害が出ないことを祈っております。 ≡ 熊谷康夫

筆者は当方は大丈夫であることを返信すると、早速次の連絡があった。

ご返信を拝見して、幾分か安心しました。1時間でも早く、雨が上がってほしいですね。なお、「山陰の民話」を転送している人からも、お見舞いのメールが入りましたので、下記にコピーします。

① 民話の会どんとはれ 長澤さん..

島根、鳥取の大雨大丈夫でしょうか。心配ですね。

② 鴻巣ガイド会 長谷川さん..

熊谷さんもお心配の通り、鳥取、島根地方の線状降雨帯の被害が心配です。酒井先生のところは大丈夫でしょうか。被害が出ても、最小限で済むようお願いしております。

両氏には、下記のご返信（小生の返信省略）を転送しておきます。 ≡ 熊谷康夫

一市民の生活の一端を披露し、絆が如何に人生を温かく彩り、楽しくするかを披露したく熊谷氏のご了解を得て一筆したものである。（元島根大学法文学部教授）